

会に意見交換している。②窓口増設の考えはないが、社会福祉協議会などと連携して案内を徹底していく。

若年性認知症への支援を

若年性認知症への対応は、重要な課題だ。①まず、区内の患者について実態調査を行うべきでは。②調査結果をふまえ、区の福祉施策に若年性認知症への支援を組み込んでいく。

区長 ①厚生労働省と

都がそれぞれ実態調査をしており、そのデータを活用したい。②患者の方々が必要なサービスを受けられるよう周知に努める。

ヒブワクチンの接種助成を

すべての子どもが低負担でワクチン接種できるように助成し、定期接種とするよ

う国に求めているかどうか。

区長 ワクチンの供給

体制が十分でないという点について、公的助成については、国の動向などを見守りたい。体力増進の取り組みを

①子どもの体力・運動能

力の低下に歯止めがかからない。体力増進のため、体育の授業時間以外の運動時間を増やすべきでは。②都の市区町村対抗中学生駅伝大会を機会に実行委員会を組織して、中学校対抗駅伝大会を復活させ、将来的には、区内ロードレースを目指しては。③都は来年度、中学校部活動への外部指導員導入促進事業を始め。この事業を活用し、中学校部活動の外部指導員の充実に努めるべきでは。

教育長 ①全小学校で専



中学校のマラソン大会

門家の助言により、リレーや縄跳びなどを実施しており、成果が出始めている。②中学校対抗駅伝大会は、多大な労力を要し、教育課程に組み込む時間がないことなどから復活は考えていないが、都の「東京駅伝」にはチームを編成して参加していきたい。③外部指導員による指導の充実を図っているが、都の事業については、詳細を把握して活用を検討していく。



学力調査を活用し 小中学生の学力向上を

自由民主党議員団 山崎 芳夫

学力の低下がマスコミで頻りに取り上げられる中、公立の小中学生の保護者には、さまざまな不安があるのではない。区では、「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」、「中野区学力にかかわる調査」を実施したが、調査結果を分析し、どのように学力向上に役立てたのか。教育長 目標値に達して

いない児童・生徒の基礎・基本を定着させるには、個に応じた指導を充実させる必要がある。算数・数学の学力向上アシスタントを配置し、少人数・習熟度指導を推進している。 景気後退局面で、無駄なく物を活用することは民間企業では当然の行動だ。自

ロビーコンサートの充実を

公明党議員団 岡本 いさお



昨年12月に区役所1階でロビーコンサートが開催され、終了後のアンケートでは多くの方が継続開催を望んでいる。①事前説明の後、演奏中だけロビーの案内音を低くするなど配慮をすべきでは。②今後、区民主体の演奏で定期開催すべきだが、いかがか。③これを機にコンサート等の演奏者選出にも生かせる中野版アーティストバンクを立ち上げ、区ホームページでもバンク登録を広報してはどうか。

区長 ①開催にあたり、もっと工夫をすべきだった。配慮していきたい。②今後、

区民の演奏家に参加し、区民が楽しめるコンサートを定期的に開催していきたい。③より多くのアーティスト参加の仕組みづくりを構築・充実させたい。

ICタグを活用し、図書館サービスを早急に向上せよ

図書館システムにICタグを導入した他自治体では蔵書検索や管理のための休館日が無くなり、サービスが著しく向上している。この例では業者からの提案に基づき、システム開発と図書館の担当職員が協議を行い、導入に至ったようだ。区でも同様の方法で、調達

野方配水塔を保存せよ

みずのとう公園内の水道タンク「野方配水塔」は、昭和41年にその役割を終えた後も地域住民に親しまれてきた。区の調査でも十分な耐震性能がある。江古田のランドマーク的な存在で、建築物、文化財としても価値の高い「野方配水塔」を保存すべきではないか。

区長 区北部のゆかりのある景観として重要な財産だ。みずのとう公園の公園施設として位置づけ、景観の形成に寄与させたい。



みずのとう公園の野方配水塔

今後、国の登録有形文化財への登録も働きかけ、補助金制度も活用していきたい。



中野ふれあいロビーコンサート

ガイドラインによる検証も行いつつ、速やかに図書館システムの再構築を進めるべきかどうか。

区長 区情報システム

調達ガイドラインでも業者提案方式は可能で、今回の場合に限らず、システムの特長に合った最適の方法で調達業者の選定を行いたい。確認たる方針を定め、ICT教育を積極的に推進せよ

校内LAN、ICT(情報通信技術)機器の導入に踏み切ることで、今後多くの自治体からこの取り組みが注目される。区として子どもの教育や学力などにかかわる大切な施策に取り組み教育長の決意は。

教育長 ICT教育の推

進は教室での学習形態の変化とともに、その活用により、従来の教師の指導力とは違う面を引き出す可能性があると考える。ICT教育を含め、総合的に中野区の教育の向上に努めたい。

区民が路頭に迷わぬよう 雇用の規範と道標を示せ

日本共産党議員団 せせと 進



解雇や雇止めが横行し、非正規労働者が仕事を失っている。①区は雇用の相談窓口を開設すべきでは。②放置自転車対策など区が直接雇用を生み出してはいか

か。③今後も需要が見込まれる訪問介護員資格の新規取得支援を増やしてはどうか。④労働者派遣制度を使っているごみ収集作業員は正規雇用すべきでは。

区長 ①就労相談につ

いては雇用・求人に関する情報が集中するハローワークが広域的対応をすべきものと考えている。②短期雇用では根本的解決とならないため、直接雇用の実施は考えていない。③必要があれば対応したい。④一時的な対応をするためであり、今後とも適切に配置していきたい。

区民の命と財産を守るべ

区民が路頭に迷わぬよう

働く場所とともに住む場所も奪われた人が多く見受けられる。①公的住宅の活用がはかられているが、入居状況はどうなっているのか。また、区民への情報提供は行っているのか。②区内に住み続けられるよう、単身者や子育て世帯に対し、家賃助成を行うべきでは。③区民の命と財産を守るべ

区民の命と財産を守るべ (次頁に続く)